

会 議 開 催 結 果

1	会議の名称	第 1 回砥部町文化財保護審議会
2	開催日時	平成 3 0 年 5 月 2 1 日（月）午前 1 0 時から
3	開催場所	砥部町中央公民館 中会議室
4	審議等事項	(1)協議事項 ア 平成 3 0 年度事業計画について イ 『砥部の文化財』刊行について ウ その他
5	出席者名	【委 員】山田邦男・戸田正和・柴田圭子 太田由美子・日野健三・岡田敏彦 十亀幸雄・渡部智磨子・岡野 保 【教育長】武智省三 【事務局】町田忠彦・小林正文・池内 隆 宮本直美
6	公開又は非公開の別	公開
7	非公開の理由	—
8	傍聴人数	1 人
9	所管課	砥部町教育委員会社会教育課 電話 9 6 2 － 5 9 5 2 （内線 7 1 4）

第 1 回砥部町文化財保護審議会会議録（要旨）

発言者	発言内容
事務局	開会宣言
教育長	教育長あいさつ 開会にあたり、ご挨拶を申し上げます。今年度から『砥部の文化財』の冊子の刊行準備を進めます。皆様のご協力をお願い致します。
会長	会長あいさつ 日本は人や物が残りにくい風土であると感じております。文化財を残す努力をしていきたい、その一助になれば良いと思っております。よろしくお願い致します。
事務局	砥部町文化財保護条例施行規則第 2 条第 1 項の規定により、会長が議長となります。
会長	第 1 号議題の説明を事務局よりお願いします。
事務局	資料の 1 ページにより平成 3 0 年度事業計画を説明します。審議会の開催については、年間 4 回計画しています。5 月の審議会、これは本日開催しております。内容は事業計画等の審議です。9 月に文化財現地調査を計画しており、南予地域を考えております。1 0 月に町指定文化財めぐりを予定しています。1 1 月 1 日から 7 日の文財保護強調週間にあわせて、指定文化財の巡視を計画しています。3 月の審議会では、事業報告等を予定しています。 また、候補物件については、委員から提出をお願いしま

	す。 その他、年間の予定としては、伝統芸能の保存会等が行う保存伝承活動に対し、補助金を交付する伝統芸能保存伝承事業、文化財保存に対する修繕補助金を交付する文化財保存顕彰事業、周知の埋蔵文化財包蔵地内で工事等を行う場合に、事前に埋蔵物を確認するために掘削を行う試掘調査、その他、埋蔵文化財包蔵地内の巡回や1月の文化財防火デーにあわせて防火設備の点検を計画しています。
会長	年間計画についてご意見ありませんか。
委員	広田地域の無形民俗文化財の消滅を危惧している。調査が必要ではないか。
委員	墓などの石造物も古いものがどんどん壊されていくので、写真撮影をし、図面も作りたい。
委員	石造物などは町内一斉に調査することが大事だと思う。
会長	墓については、陶祖と呼ばれる杉野丈助の墓の場所もよくわかっていない現状です。記録や保存が重要だと思う。
委員	埋蔵文化財については、地元の方と一緒にやって埋蔵文化財包蔵地の調査、詳細分布調査などを行っても良いのではないか。公民館と一緒に事業として行う手もある。
事務局	現地調査の場所についてはいかがですか。
委員	南予地方であれば鬼北町の等妙寺などが良いと思う。

委員	宇和盆地の古墳はどうか。
委員	愛南町の権現山も良いと思う。
会長	今出た意見を参考にして、事務局で場所や日程の調整をお願いします。町指定文化財めぐりについてはご意見ありませんか。
委員	昨年度から引き続いて、神社仏閣でも良いのでは。昨年度が広田地域だったので、今年は砥部地域でどうか。
委員	古墳はどうか。古墳や城は人気がある。また、その年その年でテーマを考えて事業を行ってはどうか。
会長	過去、砥部焼の無形文化財の方にお話しを伺ったこともある。大きな窯元であれば製造工程を見せてもらうこともできます。
委員	砥部焼なら、それに付随して歴史についても学べば良いのではないか。
事務局	今出た案を参考にして、考えてみます。
会長	年間計画全体については、承認でよろしいですか。
委員	(拍手)
会長	それでは、第2号の議案について事務局から説明をお願いします。

事務局	「砥部の文化財」刊行について、まずスケジュールですが、平成31年度を刊行予定として、今年度に準備期間を約1年設けます。今年度決定する事項は、判型等、文章内容のチェックの分担・修正等、写真撮影等で、来年度に入校、校正、3月刊行予定としています。 編集にあたり、文化財保護審議会委員の皆さまにご協力いただき、その他にも有識者の推薦をお願いしたく思っております。 その他、所蔵者確認、本文以外の表などの原稿作成に関しては事務局で行います。 詳しい内容について、基本的には以前刊行された「砥部の文化財」、「広田地区の文化財」の内容を踏襲しますが、新たに文章作成する必要がある文化財、修正する必要がある文化財もあります。 指定・登録文化財1件について1ページ、その他の文化財については2件で1ページとするか、指定文化財2件で1ページとするか、またその他の文化財をすべて掲載するかどうかでも、ページ数が変わってきます。 今回の審議会ですべてを決めることは難しいので、有識者の方々に事務局から連絡をとり、後日会議を設定したいと考えています。
会長	皆さんご意見ありませんか。
委員	編集委員会を作るということで良いか。
事務局	その予定で考えております。
委員	編集委員会を設置するなら、以前刊行した文化財冊子の

	内容をそのまま踏襲でなくとも良いのではないか。
委員	有識者については、過去文化財保護審議委員を務められた方にも声をかけてみてはどうか。
委員	編集委員数が多くなりすぎるととまらない可能性もあるが、地元の有識者の声が必要。
会長	その他意見等ありませんか。 意見がないようですので、事務局からなにかありませんか。
事務局	その他としまして、４点ほど報告いたします。 ・３月に本町から太田委員が執筆を担当された『とべの物語』が刊行されました。 ・大下田古墳２号墳西側の石積みが損傷していると県から届出がありました。危険防止のため柵を作る予定です。 ・外山の砥石業文書について、近く調査に入りたいと思っております。 ・昨年度、立花城跡の看板を入口側に設置してはどうか、検討してくださいとの提案が県からありました。 以上になります。
会長	その他、ありませんでしょうか。それでは、これですべての議題を終了します。
事務局	お世話になりました。以上で第１回文化財保護審議会を終了します。 － 閉会 －